

第1回 標準的な健診・保健指導の在り方に関する検討会

議事次第

日時：平成18年2月15日（水）

13：00～15：00

場所：厚生労働省 省議室

次 第

I 開 会

II 健康局長挨拶

III 議 題

- (1) 標準的な健診・保健指導の在り方に関する検討会の設置について
- (2) メタボリックシンドロームに着目した健診・保健指導の基本的な
考え方について

IV 閉 会

(資料一覧)

資料1 標準的な健診・保健指導の在り方に関する検討会について

(全体概要、検討スケジュール)

資料2 健診・保健指導に関して示された方向性・検討状況(概要)

資料3 生活習慣病対策に係るこれまでの動き(概要)

資料4 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予防のための健診・保健指導の基本的な考え方について(案)

資料5 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予防のための標準的な健診・保健指導プログラムのイメージ(案)

参考資料1 標準的な健診・保健指導の在り方に関する検討会開催要綱

参考資料2 がん検診に関する検討会について

参考資料3 今後の生活習慣病対策の推進について(中間とりまとめ)

参考資料4 医療制度構造改革試案の概要

参考資料5 医療制度改革大綱

参考資料6 IT新改革戦略について

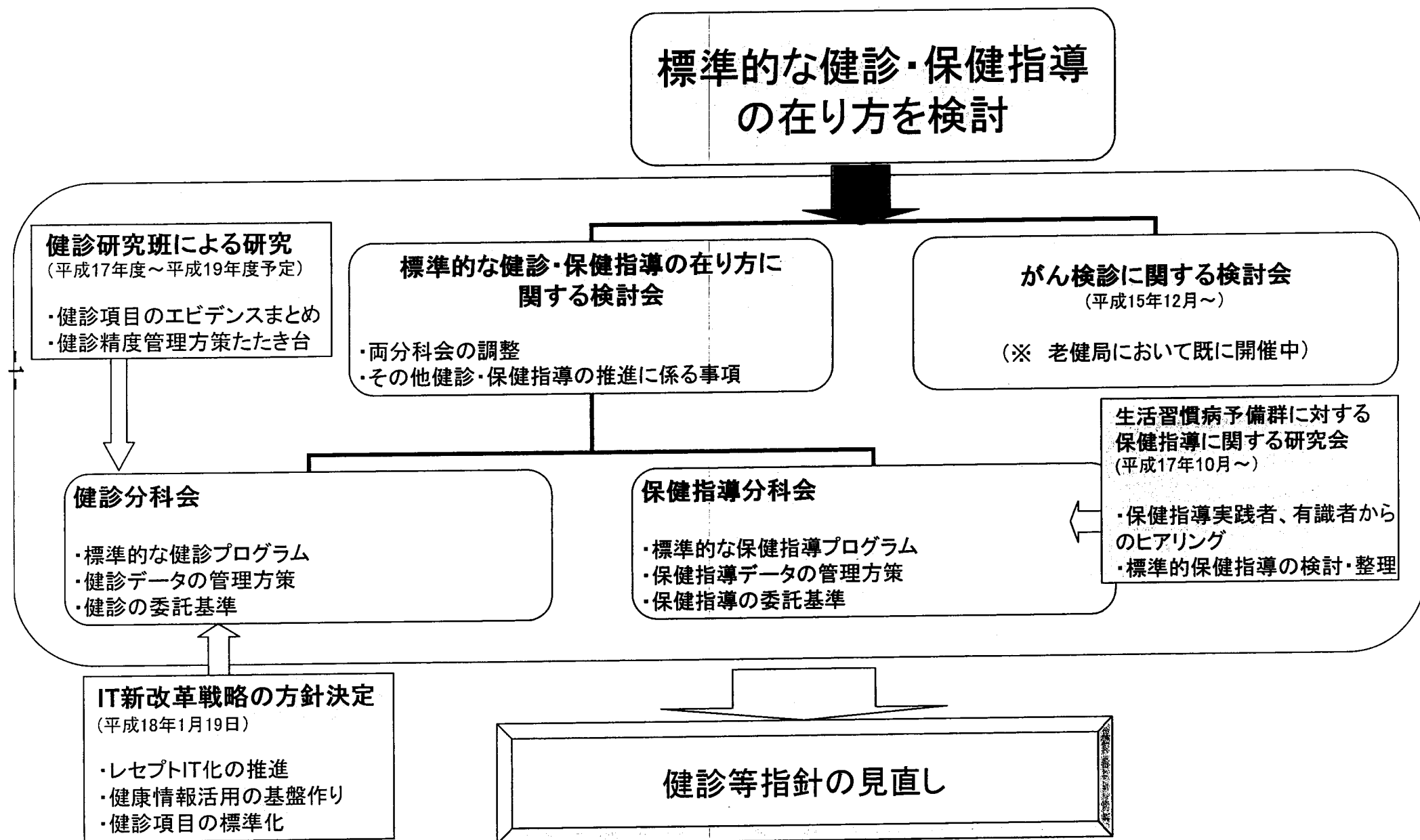
参考資料7 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)とは？

参考資料8 医療制度改革法案の概要

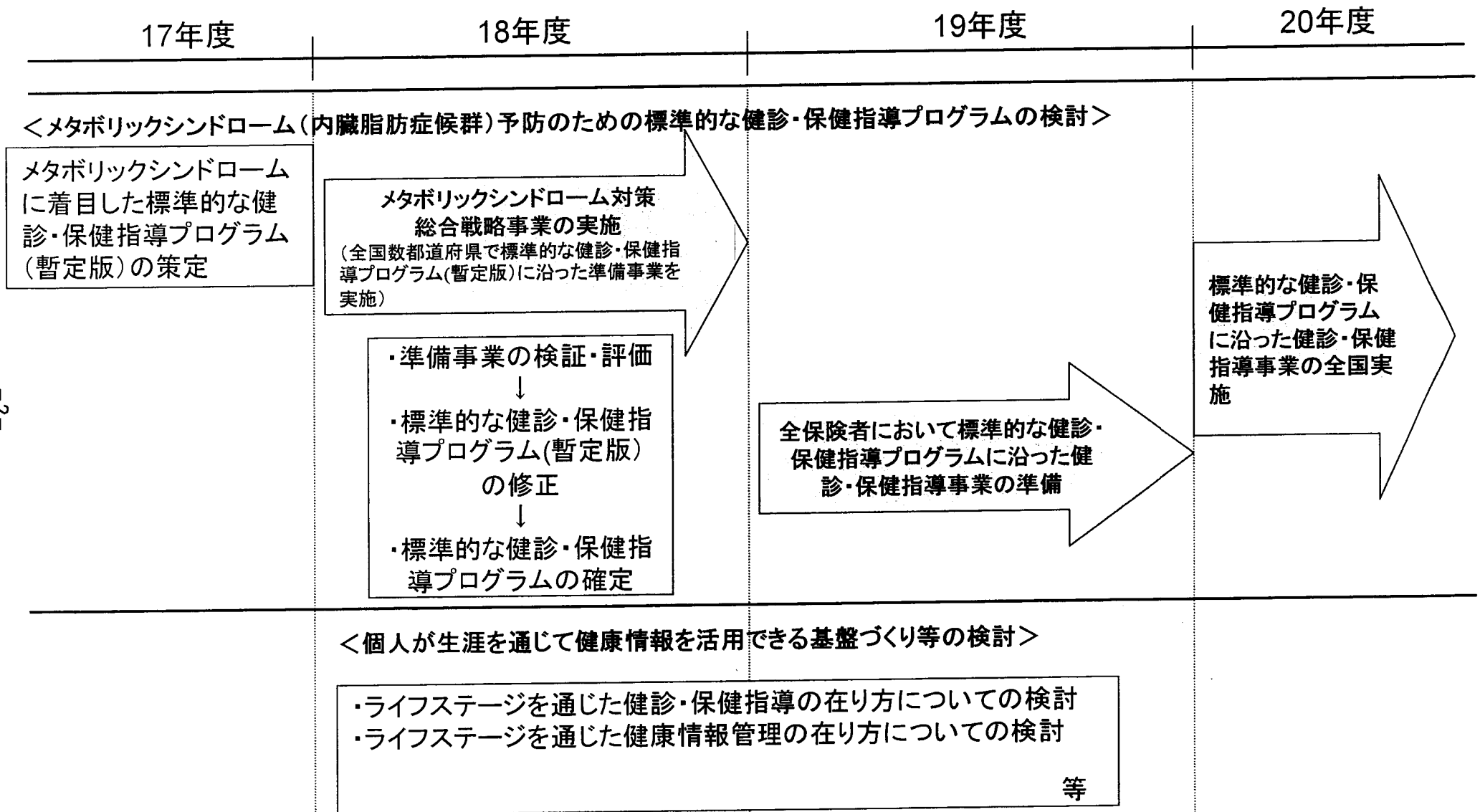
資料1

標準的な健診・保健指導の在り方に関する
検討会について(全体概要、検討スケジュール)

標準的な健診・保健指導の在り方に関する検討会構成



標準的な健診・保健指導の在り方に関する検討委員会における 検討項目・スケジュール(案)



メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)対策総合戦略事業の概要(案)

厚生労働省

- 都道府県健康・栄養調査マニュアルの策定
- 都道府県健康増進計画改定ガイドライン(暫定版)の策定
- 健診・保健指導プログラム(暫定版)の策定
- 健診・保健指導の委託基準(暫定版)の策定
- 保健師・管理栄養士等の資質向上に向けた研修ガイドラインの策定
- 保健師・管理栄養士等のリーダー研修会の実施
- 健診等結果の電子的管理のための標準仕様の策定

都道府県

<補助対象事業>

- 事業企画・評価委員会(仮称)の設置
- 事業実施計画策定及び評価
 - ・実施計画の策定(対象者、事業規模、実施体制など)
 - ・都道府県健康増進計画改定ガイドライン(暫定版)の評価
 - ・健診・保健指導プログラム(暫定版)の評価

<その他補助事業>

- 地域・職域連携推進協議会の設置・運営
- 研修計画の策定

<当該補助事業と連動して地方交付税措置(ヘルスアッププラン)を活用して県で実施する事業>

- 保健師・管理栄養士等に対する研修の実施
- 都道府県健康・栄養調査の実施
- 都道府県健康増進計画の改定(地域・職域連携推進議会)

医療保険者

- 健診・保健指導プログラム(暫定版)及び健診・保健指導の委託基準(暫定版)に基づき、40歳以上75歳未満の被保険者及び被扶養者に対するメタボリックシンドロームに着目した健診及び保健指導を実施

<関係する補助事業等の活用>

- ①メタボリックシンドロームに着目した健診・保健指導の実施(アウトソーシングを含む)
- ②結果の取りまとめ、保険者協議会及び都道府県への報告
- ③保険者協議会を通じた他保険者サービス利用に関するガイドライン案の作成・実施

市町村

- メタボリックシンドロームの概念の普及及び健康日本21の運動、栄養、喫煙での代表目標の達成に向けた重点的・効果的なポピュレーションアプローチの実施

<補助対象事業>

創意工夫を凝らした先駆的事業の実施

※可能な限り医療保険者が実施する健診・保健指導と有効に組み合わせて実施

資料2

健診・保健指導に関して示された
方向性・検討状況(概要)

健診・保健指導に関して示された方向性・検討状況(概要)

①「生活習慣病対策の推進について(中間とりまとめ)」

(厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会、平成 17 年 9 月 15 日発表)

[審議会の開催実績](議題が健診等に直接関連する会議のみ抜粋)

- 第 8 回 平成 16 年 10 月 18 日 今後の検討事項(二次予防)(案)について
 - 第 9 回 平成 16 年 11 月 25 日 健診及び事後指導(二次予防)について
 - 第 13 回 平成 17 年 4 月 21 日 生活習慣病対策の総合的な推進について(イメージ)
 - 第 16 回 平成 17 年 7 月 29 日 生活習慣病対策の推進について(骨格)
 - 第 17 回 平成 17 年 8 月 29 日 生活習慣病対策の推進について(中間とりまとめ)案
 - 第 18 回 平成 17 年 9 月 7 日 生活習慣病対策の推進について(中間とりまとめ)案
- 平成 17 年 9 月 15 日 「生活習慣病対策の推進について(中間とりまとめ)」決定
[検討結果(「中間とりまとめ」より)]

今後の健診・保健指導について、

- ・メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の概念に基づく健診・保健指導の導入
 - ・健診機会の段階化と保健指導の階層化
 - ・保健指導プログラムの標準化
 - ・健診項目の重点化、精度管理の徹底等
 - ・医療保険者による保健事業の取組強化
 - ・保健指導のアウトソーシング
 - ・保健指導サービスのアウトカム評価の実施
- などが重要であるとされた。

※生活習慣病健診・保健指導の在り方に関する検討会

[検討会の開催実績]

- 第 1 回 平成 17 年 7 月 25 日 生活習慣病健診・保健指導の現状、
生活習慣病健診・保健指導の今後の方向性について
 - 第 2 回 平成 17 年 8 月 4 日 効果的な健診・保健指導の事例等について
 - 第 3 回 平成 17 年 8 月 26 日 中間とりまとめ(案)について
- 検討結果は「生活習慣病対策の推進について(中間とりまとめ)」に反映

②「医療制度構造改革試案」

(厚生労働省、平成 17 年 10 月 19 日発表)

生活習慣病予防のための本格的な取組として、

糖尿病・高血圧症・高脂血症の予防に着目した健診及び保健指導の充実のため

- ・医療保険者において、糖尿病等の予防に着目した保健事業の本格的な実施を図る。
- ・健診及び保健指導の実施に際しては、適切な主体への外部委託を含め、民間活力を活かし、効果的で効率的なものとする必要がある。
- ・国に於いて早急に保健指導プログラムの標準化を行うとともに、都道府県においては、保健指導の質の向上等を図るための研修事業等の取組を行う。

などが盛り込まれた。

③「医療制度改革大綱」

(政府・与党医療改革協議会、平成 17 年 12 月 1 日発表)

生活習慣病予防のための取組体制として、

- ・生活習慣病の予防についての保険者の役割を明確化
- ・被保険者・被扶養者に対する効果的・効率的な健診・保健指導を義務付け
- ・保健指導の効果的な実施を図るため、国において保健指導プログラムの標準化を行うこと

などが明記されている。

④「IT 新改革戦略」

(IT 戦略本部、平成 18 年 1 月 19 日決定)

・個人が生涯を通じて健康情報を活用できる基盤づくり

2010 年度までに個人の健康情報を「生涯を通じて」活用できる基盤を作り、国民自らの健康状態を把握し、健康の増進に努めることを支援する。

1. 生涯にわたる健診結果を電子データとして継続的に収集し、適切に管理するための仕組み(収集すべき健診項目、標準的なデータ形式、管理運営方法等)を 2007 年度までに確立する。
2. 電子データとして収集される検診結果等の健康情報を個人、保険者等が活用するための基盤(健康情報を管理するデータベース、IC カードを活用した個人による自らの健康情報への参照機能等)の整備を 2008 年度までに開始し、2010 年度までにその普及を推進する。
3. 疾病予防の推進等に向け、収集された健康情報の活用方策を 2010 年度までに確立する。

⑤「疾病予防サービスに関する研究班」

(厚生労働科学研究費補助金・健康科学総合研究事業、平成17年度～19年度)

健診の有効性、健康課題に応じた健診の在り方、疾病予防事業の在り方などを、関連する5研究班が役割分担のもと、効率的かつ効果的な健診・保健指導の構築を目指して研究を3年間で進めていく。

〔研究班構成〕

主任研究者	所属		研究課題名	概要(研究目的)
永井 良三	東京大学医学部附属病院	病院長	疾病予防サービスの制度に関する研究	健診の有効性の検討、健康課題に応じた健診の在り方の検討、疾病予防事業の在り方の検討
上島 弘嗣	滋賀医科大学	教授	疾病予防サービスに係わるエビデンス構築のための大規模コホート共同研究	既存コホート共同研究による健診項目、問診項目等の有用性の評価
渡辺 清明	国際医療福祉大学附属三田病院検査部	部長	健康診査の精度管理に関する研究	健診過程全体にわたる質の向上のための精度管理基準の作成
水嶋 春朔	国立保健医療科学院人材育成部	部長	地域保健における健康診査の効率的なプロトコールに関する研究	健診プロトコールの有効性について地域における検証等
松田 晋哉	産業医科大学医学部	教授	職域における健康診査の効率的なプロトコールに関する研究	健診プロトコールの有効性について職域における検証等

⑥生活習慣病予備群に対する保健指導に関する研究会

(地域保健総合推進事業、平成17年度～)

生活習慣の改善につながる効果的な保健指導のあり方を明確にするため、地域・職域の保健指導実践者や有識者等からヒアリングを行い、有効な保健指導の方法・内容等について整理を行い、標準化に向けた検討を行う。

〔研究会メンバー〕

荒木田美香子(大阪大学教授)

鈴木 志保子(神奈川県立保健福祉大学教授)

武見 ゆかり(女子栄養大学教授)

津下 一代 (あいち健康の森健康科学総合センター健康開発監)

錦戸 典子 (東海大学教授)

鳩野 洋子 (国立保健医療科学院室長)

宮崎 美砂子(千葉大学教授)

宮地 元彦 (独立行政法人 国立健康・栄養研究所室長)